

高防錆プライマー  
サビランジャー NS-6400  
(一液タイプ)

1. 特長
2. 使用方法
3. 注意事項
4. 用途
5. 塗装基準
6. 性状
7. 塗膜物性
8. 荷姿、入目



セントラル産業株式会社

## ネオシール NS-6400(一液型高防錆プライマー)

本品は、エポキシ変性アルキッド樹脂を主成分とする防錆補助を目的とした半透明な塗膜を特長とする一液常温乾燥型の塗料です。

主に車両の床裏、及び、ホイールハウス内、建築物の金属部位等に塗布することにより錆の発生を抑えます。

一液型塗料で扱い易く、乾燥も早く、作業性抜群の商品です。

従来の防錆塗料は、塗膜性能を十分発揮させる為に高度な下地処理が不可欠とされ、下地処理に多大な時間と経費が費やされてきました。

高度な下地処理が不可能な場合など、残された錆面素地に化学反応させ、且つ、安定化することにより、市場に出回っている錆転換剤とはまったく比較にならない超防錆力で、強力な防錆効果を長期に渡り鉄部を保護します。

長期間、塗り替えが不可能な箇所、及び、パーツの防錆に最適です。

### 1. 特長

イ) 耐塩水、耐油性、耐薬品性に優れた塗膜を形成します。

※塩水噴霧試験 600 時間以上

ロ) 錆に浸透しやすく、錆成分中の水分をすばやく吸収し蒸発させます。これを共沸作用と呼びます。

ハ) 下地処理ケレン費用が大幅に節約できます。尚、浮き錆は確実に除去して下さい。  
(第3種ケレン程度の下地に塗装できます)

ニ) 塗り替え時の旧塗膜にも良く密着します。

ホ) 通常の塗料(水性塗料、ラッカー塗料、合成樹脂調合ペイント、黒ワニス、特殊変性アクリル樹脂エナメル等)の塗り重ねが出来ます。

また、各種プライマー、電着塗装、アンダーコート(含む厚塗り塗料)等に良好な密着性を有します。

※必ず、事前の確認をお願いします。

### 2. 使用方法

イ) 表面の浮き錆や旧塗膜はスクレパー、又は、ワイヤーブラシ、ハンマー等で除去して下さい。

ロ) 水分、油分、埃等は完全に除去して下さい。

車両の床裏は、高圧洗浄の水が隙間に入り込み、時間差で垂れてくることが多々あります。注意して下さい。

ハ) 使用前に容器を良く振って下さい。※目安として容器ごと 30 回以上は攪拌する。

ニ) 初めて塗装する物(塗装膜)に対しては、塗装該当部位の一部でリフティング等の不具合が発生しないかの確認を必ず行って下さい。

尚、塗装表面が固く、平滑でツルツルしている状態の場合、足付け作業を行って戴きますと、密着力は更に増大致します。

- ホ) エアースプレー塗装（カップガン）、または、刷毛にて塗布します。  
 基本的に即用型の塗料ですので、稀釈せずに原液にてご使用下さい。  
 また、塗装を行う際には一度に厚塗りを行わず、3～5分間隔を目安とし、少なくとも2～3回に分けて塗装してください。
- ハ) 常乾、酸化重合型の塗料です。塗料缶は密栓し、冷暗所にて保管して下さい。
- ト) 使用后、錆、及び、金属等に触れ、余った塗料を元の容器に戻さないで下さい。
- チ) 塗装後、機器の洗浄は、ラッカーシンナー等で速やかに洗浄して下さい。

### 3. 注意事項

- イ) 色彩は淡黄褐色白濁溶液です。下地の色、及び、文字が判別できる少し白濁した半透明色な色合いです。  
 本品には防錆を高める特殊防錆顔料を使用しておりますので、完全なクリアー色ではありません。
- ロ) 容器内で黄褐色の液状分と乳白色の液状分に分離しておりますので、使用前に、容器を良く振って下さい。※目安として容器ごと30回以上は攪拌して下さい。
- ハ) 本品はエポキシ樹脂を使用しておりますので耐候性はよくありません。  
 紫外線（日光）が直接当たる箇所では、紫外線の影響による塗膜劣化により防錆力が著しく損なわれる場合があります。  
 本品を塗布した後、30分～3時間以内に、上塗り塗装を行うことを推奨します。
- ニ) 当塗膜（NS-6400）の上にトップコートを行う場合、重ね塗り適正に異常がないことを事前に確認（外観性、密着性、リフティング性等）してください。  
 また、塗装した表面が固く（H～2H）、ツルツルした状態の場合、足付け作業を行って戴きますと、密着力は更に増大致します。
- ※5. 塗装基準、ハ) 塗装間隔を必ずお読みください。

### 4. 用途

用途	使用例
・自動車	○新車の防錆処理 シャーシー、床裏、ホイールハウス、シルフラジ部等、及び、半透明色ならではの車体情報表示部位（金属）の保護 ○車検時に於いて新車同様該当部位に塗装、及び、プライマーとしての防錆前処理
・建機 ・農機具 ・フォークリフト	○新車の防錆処理 ○シャーシー部分の防錆および保護 ○鉄錆部分の防錆および保護 ○農具の防錆および保護 ○その他、防錆したい箇所への塗装等
・建物	○建屋、屋根、鉄骨、マンション等の非常階段設備 ○各種配管外面、電力関係施設のメンテナンス等

## 5. 塗装基準

### イ) 塗装仕様

項目	塗り替え
素地調整	○新車、既販車に拘らず、塗装部位の汚れ（土、埃、油等）は、完全に除去して下さい。 また、高圧洗浄等により車両の隙間に入った水が、塗装時に流れ出し不具合を発生することがありますので注意して下さい。 ※床裏、ホイールハウス、シャーシー等には、他の種々の塗料が塗装されています。必ず、目立たない箇所で不具合（リフティング等がない事）を確認して下さい。
塗料調整	○エアゾールは、良く振ってからご使用下さい。 ○原液は、上層下層と分離がありますが、攪拌機、または、缶を振ることにより均一な状態にしてからご使用下さい。
塗装目安	○塗装方法 エアゾール、エアースプレー、刷毛塗り等 ○塗装条件 エアースプレー（エア圧力：0.25～0.4MPa） ○推奨膜厚 dry30～45 $\mu$ m（wet100～150 $\mu$ m） ○目安使用量 0.10～0.15kg/m <sup>2</sup>

### ロ) 指触乾燥時間及び硬化乾燥時間

塗装温度（℃）	0	10	20	30	40	50
指触乾燥時間（分）	45	30	20	15	10	7
硬化乾燥時間（分）	60	40	30	25	20	20
完全硬化乾燥（時間）	144	96	72	72	36	36

※本データは、正確性を記すものではなく、飽くまでも目安としての基準です。

使用時の環境および条件により左右される場合があります。

※塗装膜厚 40 $\mu$ m（dry）時の乾燥時間です。

※指触乾燥は、指で触って塗料が指に付着しない状態です。

※硬化乾燥は、塗膜を指でつまんで変形しない状態です。

※完全硬化乾燥は、塗膜硬度が最終硬度（H～2H／鉛筆硬度）に達するまでの時間です。

#### ※注意

当塗料は酸化重合反応タイプです。酸素が供給されない状態、または、雰囲気5℃以下の場合には反応が進み辛くなります。

また、高湿度下で塗装を行った場合、乾燥時間、塗膜外観、性能に影響がでる事も予測されますのでご注意ください。

ハ) 塗装間隔

塗装温度 (°C)	0	10	20	30	40	50
最小 (分)	60	40	30	25	20	20
最大 (日)	30	30	30	30	30	30
最適塗装ゾーン	30分～3時間以内 ※足付け作業を行わなくても重ね塗り(トップコート)が行えます。					
リフティングゾーン	本品の上に他の塗料を重ね塗りする場合、塗料の中には、リフティング(塗装後12～168時間程度)が発生する場合も想定されます。ご注意ください。					

※本データは、正確性を記すものではなく、飽くまでも目安としての基準です。  
使用時の環境および条件により左右される場合があります。

※塗装膜厚 40 μm (dry) 時の参考時間です。

※NS-6400 (初期塗装) を塗布後、異種の塗料を用いトップコートを行う際、リフティングの影響を受ける場合がありますので、リフティングゾーン (想定12～168時間前後) を外して塗装することをお勧め致します。

尚、リフティングゾーン中でも異常がなければ塗装して戴いても塗膜に問題は  
ありません。

6. 性状

イ) 一般性状

項目	性状
塗 料 名	サビランジャー/NS-6400
塗 料 タ イ プ	1液 常乾
主 成 分	エポキシ変性アルキド樹脂
外 観	淡黄褐色白濁溶液
粘度(20°C)イワタカップ	40±5秒
不 揮 発 分 (%)	29.5±2.0
比 重	0.96±0.05
指触乾燥速度(20°C)	5～6分
塗 り 重 ね 時 間	30分～1日
標 準 塗 布 量	0.10～0.15kg/m <sup>2</sup>

ロ) 温度による粘度変化 ※イワタカップ (IC) にて測定

温度 (°C)	0	10	20	30	40	50
粘度 (秒)	75	55	40	31	23	18

## 7. 塗膜物性

項目	結果
鏡面光沢度	85 以上
塗膜硬度 (鉛筆)	H~2H
密着性 (2mm 碁盤目)	100/100
耐屈曲性 (直径 5mm の折り曲げ)	合格
耐衝撃性 (300gX30cm)	割れ、剥がれなし
耐熱試験 (150°CX24h)	膨れ、剥がれなし ※多少黄変が発生
耐湿性 (50°C、95%以上)	白化
耐水性 (20°CX480h)	白化傾向あり
耐薬品性 (5% NaOH)	異常なし
耐薬品性 (5% H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> )	異常なし
耐揮発油性	異常なし
塩水噴霧試験	600 時間以上

※塗装膜厚 40 μm (dry) 時の参考時間です。

※試験塗膜は、塗装後、常温にて 7 日間乾燥の後に実施

## 8. 荷姿、入目

- 300ml (大箱 : 6 本×4 箱入)
- 1kg (6 本入)
- 4kg
- 16kg

以上